

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和6年 12 月
海老名市立有鹿小学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、算数)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

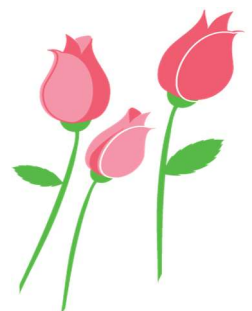
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

○次の漢字を書く問題では、正答率が全国に比べて高かったことから、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができていることが分かりました。

・きょうぎ ⇒ 正) 競技 ・なげる ⇒ 正) 投げる

○「読書記録に関する資料について」の問題から、日常的に読書に親しみ、自分の考えを広げる読みができていることが分かりました。

◆課題のある点

○登場人物の心情について、適切なものを選ぶ問題では、正答率が全国に比べて低かったことから、次のことに課題があることが分かりました。

- ・登場人物の相互関係や心情などについて、本文の描写を基にとらえること。
- ・登場人物の心情が、相互関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている場合において、想像を豊かにしながら読むこと。

今後の具体的な指導改善のポイント

○「文学的な文章を読む力」を育てるために、次のように取り組みます。

低学年	中学年	高学年
○挿絵を活用し、登場人物や場面の様子を想像しやすくする。	○人物や出来事の説明をしたり、考えたことなどを伝え合ったりする活動を取り入れる。	○登場人物の行動や会話、情景に注目し、分かったことを話し合ったり、文章にまとめたりする。
○オノマトペなど、イメージを身体で表すことを通して、語彙を増やしていく。	○読書カードを積極的に活用し、活字に触れる機会を増やすことで読むことに慣れ親しむ。	○本文の叙述を基に、行動描写と情景描写に着目して読み取る。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の関係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

○時間と道のりの関係について、正答率が全国に比べて高かったことから、時間と道のりが比例関係にあることや、道のりと時間、速さの関係をよく理解しているといえます。

- ・3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を求める。

◆課題のある点

○図形の問題では、次のような課題がありました。図形を構成する要素やそれらの位置関係について理解し、見取り図を描く力が不十分であるといえます。

- ・見取り図から対応する辺や面の関係を読み取ること。

今後の具体的な指導改善のポイント

○「図形について豊かな感覚」を育てるために、次のように取り組みます。

低学年	中学年	高学年
○具体物に触れながら、その特徴を捉えられるようにする。	○定規、コンパス等を用いて、図形を描いたり、確かめたりする活動を取り入れる。	○作図や見取り図を書く際は、図形を構成する要素を意識して取り組めるようにする。
○具体物の操作をしたり、観察したりすることを通して、そこから疑問を出し、追究をしていく活動を取り入れる。	○三角形や円などを基にして、模様を描く等の活動を取り入れる。	○対称や合同など、実際に書く活動を通して、二つの図形を構成する要素どうしの関係に着目できるようにする。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○次の質問では「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均に比べ、かなり高い結果となりました。

5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

授業の中で、自分の考えを発表する機会や、発表する際に自ら工夫できる場が用意されており、多くの児童が発表する課題に対して主体的に取り組んでいたことが分かります。

◆本校の課題と思われるところ

○次の質問では「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均を上回っていますが、他の回答に比べて割合が低い結果となりました。

算数の授業の内容はよく分かりますか。

分からない問題をそのままにすることなく教師や友だちにアドバイスをもらって粘り強く課題に取り組めるように改善していく必要があります。

生活について

◆本校のよかったところ

○次の質問では「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均に比べ、かなり高い結果となりました。

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

交換授業や教科担任制を行い、たくさんの教師と関わっていることから、自分が話しやすい相手に相談することができ、学校生活に安心感をもっている児童が多いことが分かります。

◆本校の課題と思われるところ

○次の質問では「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均に比べ、低い結果となりました。

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることは、どれくらいありますか。

普段の生活の中で充足感をもっていない児童が一部いることから、日頃から児童の様子や変化を注意深く観察し、適切な支援を行っていく必要があります。

今後の具体的な取組について

○「前向きな考え方や気持ち」を育てるために、次のように取り組みます。

低学年	中学年	高学年
○小さな幸せに気付き、素直に表現していることを大いに認め、共感していく。	○「ハッピー、サンキュー、ナイス」など自分が幸せに思ったことを話す場をつくり、他者と共有していく。	○結果だけでなく、過程に価値付ける意識をもてるようにしていく。
○児童ができたことを認め価値付けをする。自信をもつことで行動していくプラスのスパイラルを促していく。	○「今日のきらり」「天使カード」など互いの良さを認め合う場をつくっていく。	○道徳教育を通して、小さな「当たり前の幸せ」に気付けるよう、意識を向けさせていく。

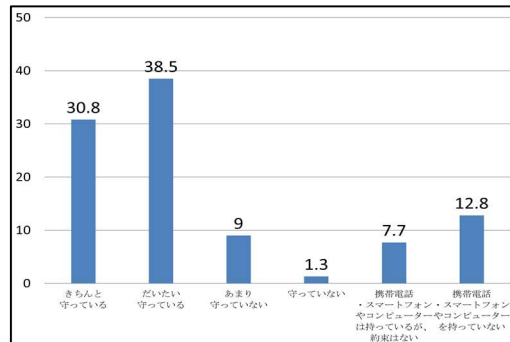
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1

約束を守りましょう

トラブルや事件、犯罪に巻き込まれず安全な生活を送るためにも、携帯電話等の使い方や遊び方の約束を守りましょう。また、携帯電話に限らず、ご家庭で決められている約束を子どもと確認し、守れるようにしましょう。



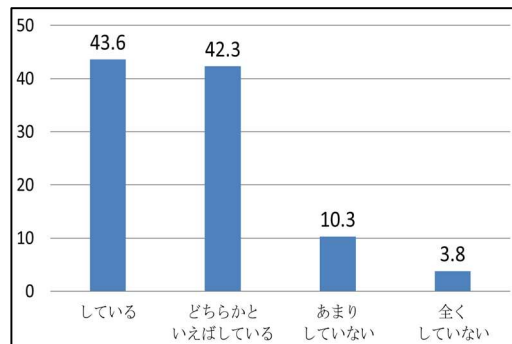
携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことをまもっていますか

2

規則正しい生活を送り

睡眠の質を上げましょう

毎日の生活リズムを整えることで、質のよい睡眠をとることができます。睡眠時の脳内では、その日に学んだことを整理し、記憶をしています。つまり、よく睡眠をとることで、学習効果を高めることにつながります。



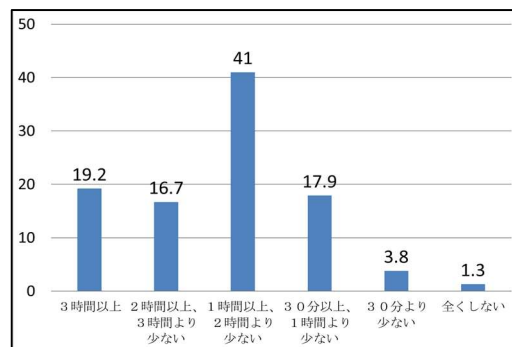
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

3

計画的に勉強をする習慣を

つけましょう

計画的に勉強をする習慣を付けることで、学校で行った学習の理解につながるとともに、計画性が養われます。自分で学習のスケジュールを作り、取り組むことで自己管理能力を高めることにつながります。



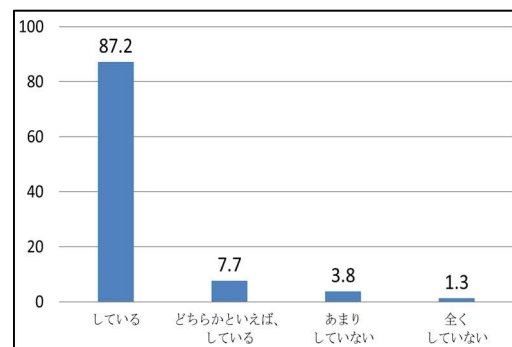
学校の授業以外に普段1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか

4

朝食は、1日の元気の源です

しっかり食べましょう

朝ごはんを食べることで、脳や内臓にエネルギーが供給され、体温が上がり、頭がはっきりとします。文部科学省の調査でも、朝食を毎日食べる子どもの方がテストの正答率が高いという結果が出ています。



朝食を毎日食べていますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

＜①授業改善の実践＞

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- こどもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】
海老名市教育委員会教育支援課 指導係
電話 046-235-4919